

1. 情報発信の実践

開始前: 自分たちが
目指した良い発表の
重点項目を紹介

◆ 発表方法(再確認): 班単位。9班。

- ◆ 14分: 準備(0.5)、発表(10)、質疑応答(3)、交代(0.5)
 - どれを取り上げる? 何を主張する? ストーリーは?
 - 一人1回(一カ所)は説明を担当すること。
- ◆ 道具立ては自由 **見た目ではなく内容重視**
 - PowerPoint、A4用紙+書画カメラ、模造紙+マーカー、板書...
- ◆ 発表者: 発表を終えての感想: 良かった点、改良点
 - 何に重点を置いていたのか? 予定通り伝えられたか?
- ◆ 聴衆役: 質問、感想・助言、そして評価
 - 建設的な意見: ココは真似したい。こんな方法もあるのでは。.....
 - 一番優秀だと感じた班を投票(自分の班以外で)
- ◆ 感想: メールで(用紙はメモ書きのために)
 - 他人のコメントを希望するなら提供も可。必要なら秘匿化も。

1. 情報発信の実践【発表順】

◆ 発表順決め

- | | |
|----------|----------|
| ◆ 1番目: 班 | ◆ 6番目: 班 |
| ◆ 2番目: 班 | ◆ 7番目: 班 |
| ◆ 3番目: 班 | ◆ 8番目: 班 |
| ◆ 4番目: 班 | ◆ 9番目: 班 |
| ◆ 5番目: 班 | |

【一例】

- ① 13:20-13:34
- ② 13:34-13:48
- ③ 13:48-14:02
- ④ 14:02-14:16
- ⑤ 14:16-14:30
- 休憩: 14:30-14:40
- ⑥ 14:40-14:54
- ⑦ 14:54-15:08
- ⑧ 15:08-15:22
- ⑨ 15:22-15:36

(小休憩: 14:30頃から10分程度か?)

◆ 決め方は? 希望? クジ?

- ◆ 立候補はありますか?

2. 情報発信をしてみても

- ◆ 如何でしたか?
 - ◆ 発表時間、内容、ストーリー、提示資料、.....
- ◆ 考慮点がいろいろとあったのではないか: 前回
- ◆ 上達するには場数を踏むのが近道
 - ◆ 失敗を繰り返す
- ◆ 他の人の発表や大学の講義を参考にする
- ◆ 「発表はショーである」
- ◆ 参考文献
 - ◆ ガー・レイノルズ著、シンプルプレゼン、日経BP社
 - ◆ 諏訪 邦夫著、発表の技法—計画の立て方からパソコン利用法まで、ブルーバックス、講談社

3. 改めて「情報の裏」

◆ この講義では、

◆ 情報の【入口】

- <情報に接する>、<情報を吟味する/見極める>

◆ 情報の【出口】

- <情報を発する>、<情報発信の実践>

◆ 受動的な利用は考えもの

- ◆ 何の情報なのか? 誰が発しているのか? その目的は?
- ◆ 真偽は? 確認方法は?
- ◆ 自身の行動にどう活用する? 次なる手は?
- ◆ 裏を考える習慣

4. 残された課題

- ◆【入口】と【出口】以外にも
 - ◆情報の採取: 能動的・主体的収集、ノイズ、実験、調査
 - ◆情報の分析: 統計学、モデル
 - ◆情報の解釈、考察: 専門的見地から
 - ◆情報の利活用: 行動判断、「次の一手」
 - ◆情報の管理: セキュリティ、廃棄
 - ◆その他: 著作権処理、個人情報保護、.....
- ◆いろいろな場面で遭遇するであろう
 - ◆振り回されない。「自分が主役」。
 - ◆そのためには何が必要?

5

5. 講義を終えるにあたって

- ◆受講いただきありがとうございました
 - ◆多少でも楽しんでいただけたのなら幸いです
- ◆少しは「裏が読める」ようになったでしょうか?
- ◆文理混合クラス: 異なった視点、「多様」
- ◆手探りの講義、挑戦的講義
- ◆皆様のご期待に対して、
だましたことになってないことを期待するが.....
- ◆「大人への入口」の端緒に
 - ◆モノゴトには表裏がある
- ◆講義への感想: お待ちしております

6

5. 講義を終えるにあたって(補足)

- ◆提出はメールで: 締め切り 7月15日(金) 夕方
 - ◆個々人: 学生番号、氏名、班番号も
 - <情報発信の実践>の感想: 自班に対して、他班に対して
 - 本講義(情報の裏)の感想
 - 希望: 返却と匿名化: 返却は紙ベース: 7月19日に(予定)
 - ◆班の代表者: 発表に使った説明資料を送付下さい
 - ◆受領確認用: 学籍・班番号を掲載(個々人、代表者とも)
 - www.artsci.kyushu-u.ac.jp/~hayashi/kougi/ura163/
- ◆今後とも何かご質問があれば遠慮なくご連絡ください。
 - ◆kadai.ura@gmail.com (または hayashi@artsci.kyushu-u.ac.jp)
 - ◆林 篤裕 (基幹教育院)
- ◆来週は「合同クラス(2406教室)」で開講。PC持参。

【依頼】

アンケート入力をお願い

「2016年度前期後半授業アンケート : Questionnaire for KIKAN Education Courses, Second Term, 2016」への回答をお願いします。

◎Moodle (<https://moodle.artsci.kyushu-u.ac.jp/>) にログインし、画面左端のナビゲーション画面から、

- ① Home
- ② マイコース
- ③ アンケート
- ④ 2016年度前期後半授業アンケート : Questionnaire for KIKAN Education Courses, Second Term, 2016
- ⑤ アンケート回答
- ⑥ 課題協学科目の「回答する」をクリック

と辿ってアンケートに回答してください。